

東日本本部と国労本部が共に

地方オルグを展開!

本部「闘争指令1号」を徹底 JR東日本との「労働協約締結と運動の展開」



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 734 定価 20円

2013年

2月7日

周りの仲間を信頼し 組織拡大 まず一人から

<http://www.e-nru.com>



携帯用ホームページはこちらのQRコードから



組織強化・拡大分会代表者会議

国労東日本は、昨年12月15日に開催したブロック別分会長会議に続き、1月12日から、国労本部が昨年12月5日に発信した『闘争指令1号』組織拡大全国統一行動の展開』と、JR東日本との間で昨年10月に締結した「労働条件に関する労働協約」締結と今後の運動の展開について（日程は別表）の2点で地方オルグを展開しました。

今号は、①地方オルグ報告 ②社会人加入者座談会 ③組織拡大報告、としました。

東日本本部主催

盛岡地方本部

青森支部

オルグ報告

正月から降り続いた雪が一段落した1月13日に、青森市にある青森県労働福祉会館において、

東日本本部主催「各地方本部オルグ」が開催された。

国労本部より眞子書記長、東日本本部より高野委員長を迎えての会議に青森支部内42名の機関代表者が参加した。

冒頭、国労本部眞子書記長から「全国で続いている組織拡大の流れに自信を持って、青森の地でも全体で取り組んでいたきたい」という内容を含めた提起を受け、続いて東日本本部高野委員長より、昨年締結した『労働条件に関する労働協約』締結と運動の展開についてオルグを受け



た。

青森支部としても、組織拡大対策会議をこの間5回開催して、組織拡大の意義や課題についてさまざまな討論を積み重ねてきたところではあるが、本部や東日本本部を迎えての会議は初めてであり、参加者の表情は真剣そのものであった。はからずもこの日、青森駅連合分会で木村新吾

さんを組織拡大したこともあり、青森支部としては最高のシチュエーションでの会議となった。

質疑応答では、青森駅連合分会の小原分会長が木村さんの組織拡大の報告と分会としてのこれからの取り組みを発言し、続いて八戸工務分会と青森貨物分会の代表者からも組織拡大の取り組みの報告がされた。

なかなか結果に結びつくまでが大変な組織拡大であるが、何もしなければ拡大できないことは周知の事実で、拡大を勝ち取った組織は、その度に分たちの取り組みに自信と勇気を持つことができる。今年も支部内で具体的に何かを取り組もうという意思統一を図った。

その後13時より「青森は初めて」という本部眞子書記長をお招きしての恒例「2013年国労青森支部団結旗開き」へと場を移して、組織拡大に向けてさらなる団結の確認をし合った。

(青森支部発)

各地方本部オルグの取り組み

2/2	1/22	1/19	1/18	1/13	1/12
長野地本 水戸地本 東京地本	高崎地本	新潟地本	秋田地本 秋田地本・秋田支部	千葉地本	盛岡地本 仙台地本 秋田地本・横手地区
			秋田総合 車両センター	盛岡地本・青森支部	盛岡地本・盛岡支部

4月1日以降の賃金改善等について申し入れ

1月25日に開催された第183回拡大中央委員会決定を受け、以下の要求を本社に2月12日に申し入れます。(一部抜粋)

- ① 5,000円(所定昇給は別)引き上げること
- ② 所定昇給は係数4とすること
- ③ 第2基本給は廃止すること
- ④ 60歳以上のエルダー社員については、59歳の基本給をスライドさせること
- ⑤ 契約社員及びパート社員についても社員に準じて賃金を引き上げること

【尚、回答は3月15日までを求めています。】

1月19日・仙台

社会人加入者 交流座談会

JR東日本社員の年齢構成は、新会社発足前後における新規採用者の調整と、団塊世代の大量退職時代を迎え、40才代の社員が極端に少ないいびつな年齢構成(図1)になっています。そして、今年度には平成採用者が国鉄採用者の数を初めて上回ったと言われています。

昨年10月に策定された「グループ経営構想V(限りなき前進)」では「今後10年で急速に世代交代が進展することを踏まえ、技術・技能継承をスピードアップする」各職場の核となる中堅社員の育成強化」と、書かれています。こうした中、さまざまな意味でプレッシャーのかかる世代である、社会人採用者の組合員(一部)に集まっていたいただき、会社や組合についてざっくばらんに意見を話し合っていました。



樋口執行委員

(司会) 樋口執行委員

東日本としてもこの間、組織の強化拡大に向けてプロジェクト別の交流会や、国労加入者の仲間の所に行つて経過や課題について会議を開催し吸収をして、全体に広げる努力をしてきました。本日は、社会人加入者の皆さんに、仕事の悩みとか組合に対する要望などをざっくばらんに出していただき、東日本本部として組織拡大につなげていきたいと思ひます。

まずは簡単に自己紹介からお願いします。

(中島健太・池袋運輸区・11年度採用)

2008年にグリーンスタッフ・契約社員としてJR武蔵小金井駅に入社して出札と改札を担当、2010年に社会人採用試験に合格し、2011年の4月から正社員となり新宿駅の改札で4ヶ月半、そして去年の8月から念願の車掌として勤務をしています。

(白川稔・郡山駅・12年度採用)

昨年の11月に国労に加入しました。郡山駅では改札を担当していますが、最初は長いものに巻かれるのに他労組に加入しましたが、国労の皆さんの温かい言葉と仕事ぶりを見て、私も国労で頑張りたいという思いで加入しました。

(中村賢太郎・水戸駅・11年度採用)

昨年の9月にそれまで1年半勤務しました牛久駅を離れて、今は水戸駅の輸送室で信号扱いをやるようになりました。まったく知識のない所で戸惑っています。前職は某乳業会社で営業をしていました。

(飯田智士・横浜電力技セ・12年度採用)

今年の4月に入社しました。未加入の時期が長く他労組からプレッシャーをかけられ、

色々長いこと自分で考えました。加入を決めたのは、労働組合というのは、まず第一に自分たち労働者を守ってくれるためにあるんだなあとという事と、今の職場の先輩たちとだったらそれが実現するのかな、という事を感じ加入しました。

研修センターの内容を見直すところがあるのでは

(司会) それでは、テーマに沿つて意見を頂きます。最初に、JRに入る前に、色々仕事・経験をされ入社されていきますが、どういったことを期待してJRに入ったのか?または実際に入つてみてどうなのか?

今の仕事を含めての感想をお願いします。

(中村) 入る前のイメージは、駅か施設か二つに分かれていました。そして駅といつたら出札とか改札とかが浮かんでいました。最初の牛久にいます。最初はまさか思っていた通りの仕事でした。今の信号扱いは怖い仕事で、先輩方には「消しゴムで消せない」と言われ自分たち社会人がポツと入っても何もわからない。駅から輸送・信号に行く時にも基礎的な部分、知識とか技能を身につけさせていただいて、そういう場に送り出してほしい。ダイヤが乱れてからが我々の仕事で、あたらなければ知識は増えないが、安定輸送を考えると願ってはいけません。そういうシミュレーションのレーニングみたいなのが新白河の研修センターであるといひかな、と思います。

(白川) まだ入つて間もないのですが、新白河での研修の内容・期間とかちょっと足りない所があるのかなと思います。技術的なものが身につけていない中で、駅で出札・改札を担当する。見習い期間はありませんが、研修センターの内容を見直す所があるのかなと思います。

構えなど色々やるのが基本で、その中でも技術継承は大切なんだよという割にはあまり伝わっていない。そのためには実際に現場に出ないとわからないことも多いのではないかと感じました。

言いたいことが

言えるのが国労組織

(司会) ところで労働組合の必要性や役割についての認識が大学や高卒の新採者とは違うように感じます。いかがですか?

(中村) 会社に入ることを目標にやってきて、いきなり労働組合の話をして分らないし、皆が入るからというので入っている人が多いです。もう少しよく考えようと言いますが、なかなかうまくいきませんね。長いものには巻かれるというか自分の意思を發揮しきれない。ある意味、事なかれ主義の方が新採には多いです。

(中島) みんなと一緒にいたら安心というのもあるし、あとは勧誘する時期ですよね。まだ入つて間もなくどうしていいかわからない。しかも会議室に缶詰にして怖い雰囲気の中、そういう脅しで勧誘されるという話もよく聞きます。

(中村) 歓迎会という名目で行つたら、会社としてはなく組合の歓迎会になつていて、



白川稔さん

印鑑を押すまでボールが出てこなかったという話も聞きました。もっと組合活動や、存在意義、人間的魅力というところに訴えて加入をやつてくれればいいのですが。

(司会) それはやはり、長いものに巻かれるということでは労働組に入つて若人がいっぱいいると思います。他労組に対して不満を持っていてもなかなか言えないですか?

(中島) やめたいけどやめられないし、どんどん給料から組合費引かれてもいいから、もう関与したくないという人が結構います。危機感というのは大げさなんですけど、気付かせてあげる環境をこちらから作つてあげてもいいのかなと感じます。



中島健太さん

(中村) 私も国労に入るときに、組合として協力を要請されるとかいろんな動員があるというのを知つてましたけど、会社から給料を貰つて生活を安定させて、その上でよりよいものにするために国労という組織を選んだのであって、それが強制されることであつてはならないと思います。話を聞いていると他労組のやり方は

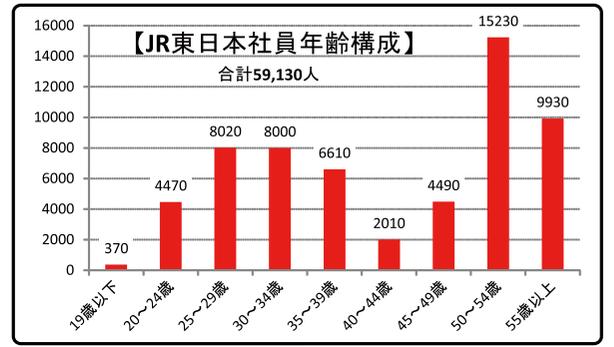


図1

自由度の少ない、逆に拘束の非常に強い組合だと感じます。

他の組合員は何々させられた、何処何処に行かされた、何かの会に行かされた、という風につまらなさそうに話すから、行きたくないのならば行かなければいいのにと言うと、年休が勝手に申し込まれていて行かざるを得ないと言



武田組織部長挨拶

期待される社会人採用者の皆さんから見た日々の仕事や会社への思い、そして労働組合への思いや期待などざっくばらんに話してもらい、今後の組織拡大へ向け参考にするために交流会を企画しました。ぜひ忌憚のない意見をお願いします。

なにか逆らえない雰囲気があると。組合費を払ってそんな思いまでしているのを見ると、心の中では来いと思いつつ、組合費の無駄だからやめた方がいいと言っています。が、そういうのを聞くと悲しくなります。

自分たちを最後まで守ってくれる組織だとアピールする(中)

(司会) 今職場の中で他労組に入ってる若い人たちが、やっぱり組合にも不満を持っていて、会社にも不満もって

東日本として組織拡大に向けて取り組んでいます。様々な状況の変化があり、今日お集まりいただいた社会人採用者の皆さんが国労に加入していただく状況になってきています。今日の参加者以外に、東日本管内には〇名います。



中村賢太郎さん

すから、国労はさすが自分たち労働者のことを考えて要求しているのか、労働者としての共感を得るような取り組みを高めていくことですね。

そういった流れが生まれてくると、若い人たちが、「あれ、〇〇さん何で国労入ったんですか？」と聞かれるようになると思います。

「〇〇さんについてきます」という人が出てくる。やっぱり国労組織の特徴として、人付き合いできっちり培った人間関係というものは代々受け継がれていくものだと思はれます。

（飯田）自分が思うのは、今まで国労がやってきた色々な活動というのはそのまま続けていくことで問題ないと思えます。

（白川）駅に限っての話かどうかはわからないですけど、見習い期間に必ずといっていいほど他労組の人たちに見習いが占有されています。



飯田智士さん



（司会）本日は本場にありがとうございました。この会をアピールしていくのが一番かと思えます。自分が勧誘を受けているときは、「うちに入りなよ」、「まずはうちに入って考えなよ」というやり方を他労組はしてきましたが、「よく考えて、もし自分で考えた末、組合に入らなくてもいいと思うんだしたら、それでもいいと思う」という風に言ってくれたのが国労です。



甲府保線技術センター 20代青年労働者加入 今後の経験を通して 1月7日 人間性の成長をしていきたい

1月7日、甲府保線技術センターに勤務する、入社2年目の青年労働者・N君(25歳・未加入)が国労への加入を決意してくれました。

N君は、入社時に、複数ある労働組合の内容や運動形態等の理解が無いままに最大組合に加入しましたが、強引な組織運営に矛盾を感じ、昨年2月に脱退をしました。

未加入期間中は、各労働組合の運動と各所属組合員の仕事等における取り組み・姿勢を見続け、「国労の仲間の仕事ぶりや、色々と相談にのってくれたり、話を聞いてくれたりしたこと、また自分たち若い人を大事にしている所に共感した」と本人の意思で国労への加入を決意しました。

加入当日に開催された分会集会では、本人から加入に至る経過や未加入時代に「仕事の覚えが遅い」「気が利かない」等の噂が流された事への不安等が述べられ、先輩組合員からは、「新入社員の評価を1年足らずです



べきでない」「じっくり育てる事が重要」等の反論を会社等に行っていた事実などが話されました。また、ある先輩組合員からは、「他組合や未加入でいる方が、気が楽じゃないの」とした意地悪な質問も出されていましたが、労働組合への加入と今後の経験を通じて「人間性の成長をして行きたい」と決意を表明していました。この交流を通じて一層の仲間意識の浸透が図られています。

20代の青年労働者の加入を契機に、国労甲府保線技術センター分会のみならず、甲府地区に働く組合員への青年労働者の組織化と「国労の組織拡大」に向けた意識の高揚や取り組み強化に向け奮闘していきたいと思えます。(甲府地区協議会発)

地方本部・地区本部、1月23日 業務部長、職協代表者会議を開催

国労東日本本部は、1月23日、都内で各地方本部・地区本部、業務部長、職協代表者会議を開催しました。会議は、①労働条件に関する協約と今後の取り組みについて、②JRステーションサービスの発足とグループ会社における国労運動の展開・強化に向けて、③「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」に対する取り組み、④2013年度新賃金決定の取り組み(案)、⑤2013年度問題と再雇用「エルダー社員制度」の今後について、⑥組織強化・拡大と会社、他労組の動向、について意見交換と意思統一を行いました。



郡山駅連分会国労加入歓迎会 12月8日 先輩の良いところを広め 拡大に頑張りたい

12月8日、郡山駅連分会で11月1日付けで国労加入した白川稔さん(12年度社会人採用)の歓迎会が開催されました。

歓迎会は、分会35年永年勤続、退職者慰労会も併せて行われ、東日本、仙台地本、福島県支部、そして政党関係者、労働金庫からも来賓の皆さんが参加し、盛大かつ賑わしいものとなりました。

加入した白川さんから「入社して国労の先輩の良いところをたくさんみてきた。それを見て加入を決めた。今後、新採始め他労組の仲間の良いところを広め、拡大にむけ私も頑張りたい。」と加入した経過や決意が述べられ、全体で更なる拡大にむけ取り組みを強化していく事を確認していました。

東日本青年部からは、歓迎の檄紙が贈られ、彦田青年部長から「青年部の仲間として一緒に楽しく行動や学習していきましょう」と述べられました。

歓迎会の最後は、国鉄労働組合歌の合唱、そして白川さんの団結頑張ろうで締められ、会場を移



最新のがん治療に合わせて進化したアフラックの新しい「がん保険」です。

生きるためのがん保険 Days

「生きる」を創る。
Affac

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第三法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

■募集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF007-2011-0293 6月22日